

令和元年度行政評価 事務事業評価シート(平成30年度実績)

事務事業コード	030101020	予算コード	01015200	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	共同浴場施設管理事業	正規職員数	0.15	国庫支出金	0	有効性	B	平成24年度より指定管理者制度の導入による運営管理体制となり市の財政的な負担は大幅に減少され、効率的な状況になった。運営内容については、指定管理者との協定書・仕様所に基づき、利用者へのサービスの低下には陥っていない。それぞれ浴場で独自のサービスを実施するなど、地域の特色をもった取組みも進んでおり、良好な運営管理状況であると言える。現状維持が望ましい。	
担当課	地域共生推進課	嘱託職員数	0	府支出金	0	効率性	A		
根拠法令等	市単独事業 ■要綱・要領	臨時職員数	0	市債	0	妥当性	B		
		歳出(千円)		その他	0	受益者負担	C		
		人件費総額	1,323	一般財源	21,411				
				減価償却費	0				
事務事業類型	施設管理事業	フルコスト(千円)	21,411	緊急性	C	事務事業実施内容			
実施手法	全部委託	市民1人当たりコスト(円)	213	活動指標	H30実績	公的関与	C		各指標の項目については、目標に近い値で例年推移しており、良好な事務事業が実施されていると言える。自家風呂の普及とともに、利用者数が大きく増加していくことは見込めないが、利用料金の改定、経費の削減や施設・設備の維持管理による快適な空間の提供等、運営努力によって比較的良好な経営状態を保持することができている。
対象	不特定の市民	対象数							
事業の内容	昭和47年に竣工した鶴原共同浴場は、施設の老朽化が著しく、平成21年度に建替え工事に着手、竣工し、平成22年4月に新浴場(RC平屋、延べ床面積425.32㎡、建築価格141,124千円)として運営が開始された。市としては鶴原共同浴場と榎井共同浴場(RC平屋、延べ床面積391.38㎡、平成15年竣工、建築価格170,001千円)の施設管理を行っている。平成24年度より指定管理制度へ移行した。			他の事務事業との関連	B				
事業の目的	市民の健康衛生と入浴機会を確保することの他、住民の交流の場となることが期待されることから、福祉的コミュニティ形成の拠点とする。			成果指標	H30実績	透明性	C		
				修理・修繕件数(2浴場)	5.0	財政健全化計画	該当なし		
				保守委託等件数(2浴場)		財政健全化の取組	該当なし		
				入浴者数(2浴場)	85,946.0	改革改善プラン達成度	該当なし		
				コスト指標	H30実績				
			入浴者1人当たり経費	234.0					